

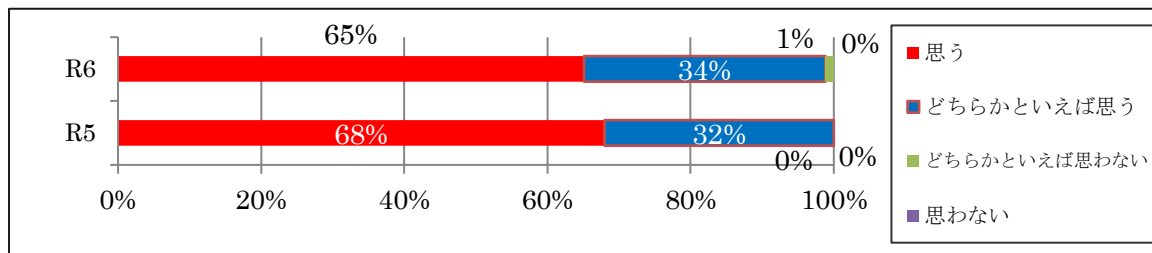
令和6年度 学園・学校評価のまとめについて

大寒の候 保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のことと拝察申し上げます。また、日頃より学校の教育活動につきましてご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

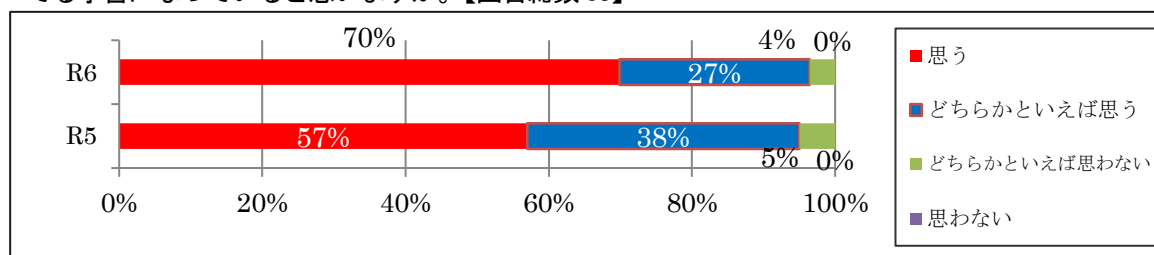
2学期末にご協力いただいた学園・学校評価アンケートのまとめについて項目ごとに結果と考察をお伝えします。いただいたご意見を深く受け止め、今後の本校、本学園の教育に活かして参ります。

学園評価アンケート【保護者】

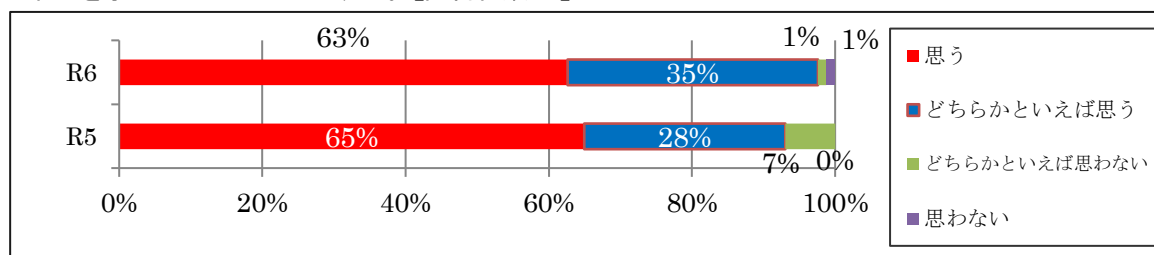
- 1 「ふるさと学習」で、地域の様々なひと・もの・ことにふれて学ぶことで、子どもたちは、地域のよさを実感していると思いますか。【回答総数 83】



- 2 「英語学習」は、子どもたちにとって、外国の文化や言語に親しみ、コミュニケーションの姿勢を育てる学習になっていると思いますか。【回答総数 83】



- 3 学校のスキー授業を通して、子どもたちはスキーを楽しむとともに、スキー技能やゲレンデマナーの素地を学んでいると思いますか。【回答総数 83】



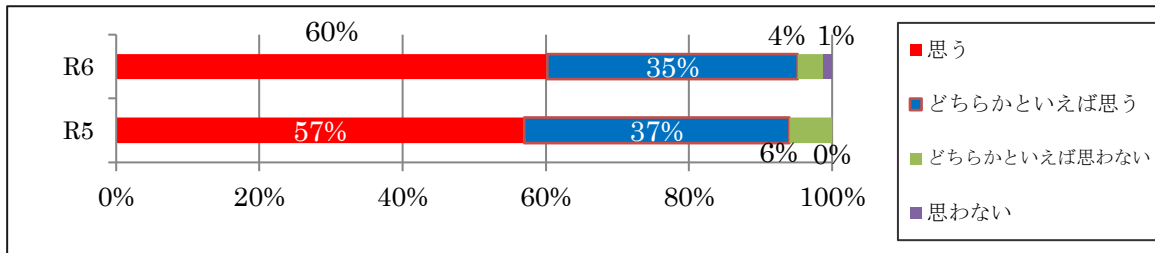
今年度も、地域の様々な「ひと・もの・こと」に触れて学ぶ機会がたくさんありました。また、ボランティア支援センターの協力も得て、様々な学習場面で地域の皆様にご協力いただきました。それらの出会いの全てが子どもたちの学びにつながった1年となりました。

英語学習においては、どの学年も ALT のネイティブな発音に触れながら、会話やゲームを通して音声でのやりとりの力を向上させています。また、朝の時間に5分間のイングリッシュタイムを設けて、毎日英語に触れる取り組みをしています。年度当初、英語係を中心にイングリッシュタイムの充実に向けた校内研修にも取り組みました。また、「外国語の先生が英語しか喋らないが分かりやすく、子ども達にも積極的。」というご意見を参観した保護者の方からいただきました。今後も英語の学習が楽しい時間となるように工夫していきます。

スキー学習については、全校スキー教室で保護者の方と楽しむスキーツアーの時間を確保するためにポール競技をとりやめ、その代わり年4回あるアルペンスキー授業では、高学年が常設のポールを体験するようにしました。タイムを計ってのポールではありませんが、誰もが無理なく体験することを目指しています。

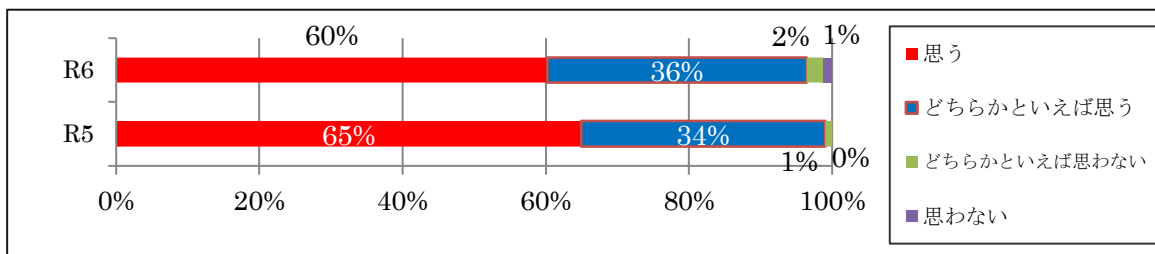
学校評価アンケート【保護者】

- ① 学校は、教育方針や学級の様子等をおたよりや懇談会等で知らせたり、家庭と連絡をきめ細かく行ったりしていますか。【回答総数 83】



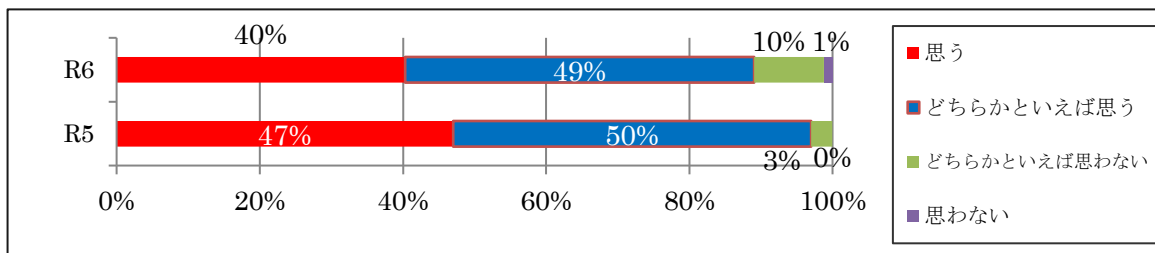
今年度も多くの保護者の方から肯定的な回答をいただきました（95%）。今年度から学校 HP を新しくして、子ども達の様子をお知らせしています。来年度も、学校の様子を「HP」に加えて「学年だより」「広報のざわおんせん」「山毛櫨の子 野沢温泉学園だより」「授業参観・懇談会」などでお知らせしていきます。

- ② 学校は、授業参観や行事等で、保護者や地域の方々が参加や参観をしやすいような開放的な感じがしますか。【回答総数 83】



今年度も多くの保護者の方から肯定的な回答をいただきました（96%）。今年度も、全校で音楽会を開催して大勢の来賓や保護者の皆様に鑑賞していただきました。また、学園授業研究会の午前中に、授業を公開して保護者の皆様に参観していただきました。来年度も、子どもたちの様子をより多くの皆様に見ていただけるようにしていきます。

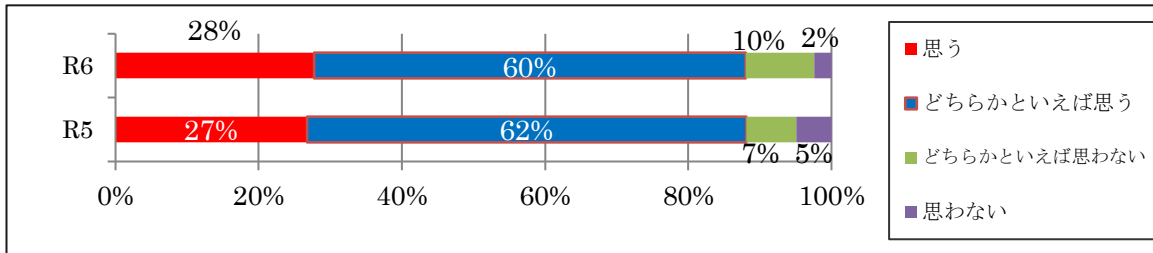
- ③ 学校は、施設設備などの環境整備、登下校や休み中の生活の仕方等で、安全に配慮していますか。【回答総数 82】



肯定的な回答が8ポイント減りました。引き続き、安心安全な学校を目指し、施設の安全点検や通学路の巡視などに取り組んでいきます。保護者の方や地域の方から寄せられた子どもたちへの安全面でのご意見（交通ルールの徹底、不審者対応、雪道の安全など）は、今後も速やかに対応し、子どもたちへも指導していきます。また、年に3回行われる集団下校では、教職員が子ども達と一緒に歩く中で、危険箇所の確認を行い、安全に歩けるように指導を重ねていきます。

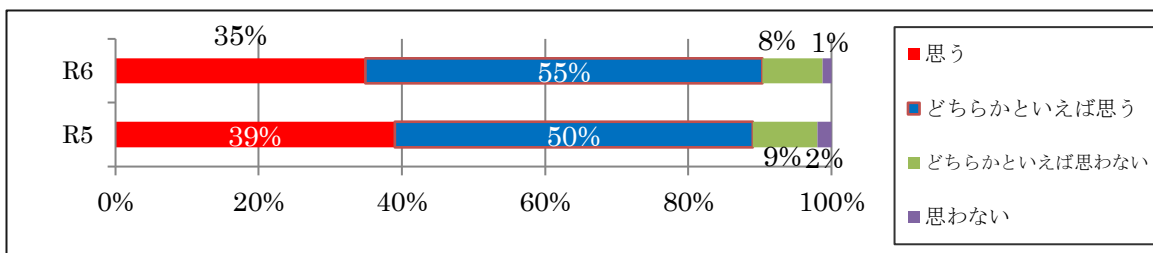
今年度は、PTA の皆様にご理解をいただきまして、PTA 特別会計からクロススキーの靴と体育館用のスポットクーラーを子ども達のために購入することがPTA 理事会で決まりました。納品は来年度になりますが、今後の子ども達の学習活動に活かして参ります。

- ④ 学校は、いじめや不登校等の発生を早期にとらえ対応し、子どもが安心して登校できるように努めていますか。【回答総数 83】



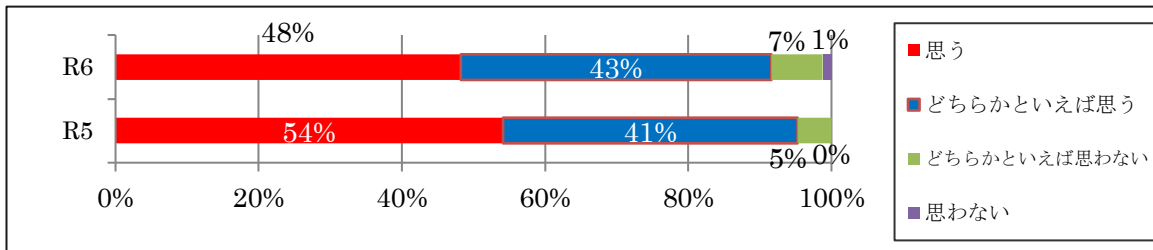
いじめ・不登校への早期対応について、肯定的な回答が88%でした。とはいえ、「そうは思わない」という回答もある事実を真摯に受け止め、全職員がチームとなって対応し、子どもや保護者の皆様と共に解決に向かって進めていけるよう努めて参ります。また、保護者の皆様との連絡も密にとり、子どもや保護者の皆様の思いを全職員で理解して、安心安全の学校づくりをして参ります。

- ⑤ 学校は、命を大切にする心や人権に関する課題について、学ばせようとしていますか。【回答総数 83】



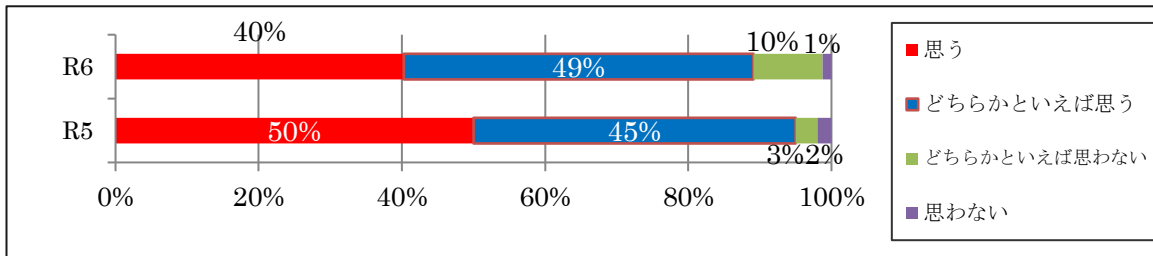
肯定的な回答が90%でした。一方で「思わない」と回答したご家庭もありました。引き続き日々の学習の中で扱っている「命や人権」について、子どもたちの心に届く学習となるように、今後も工夫・研究していきます。

- ⑥ 学校職員は、保護者からの相談や要望にきちんと応えていますか。(学級担任以外も含めて)【回答総数 83】



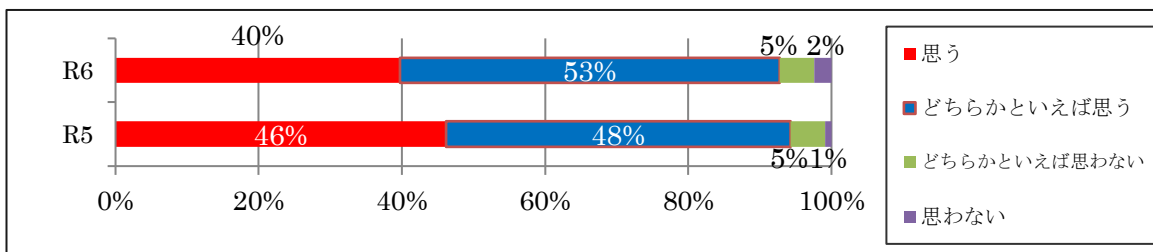
肯定的な回答が91%で4ポイント下がりました。保護者の皆様の学校へのご期待や願いを真摯に受け止め、今後も地域と共にある学校を目指して参ります。一方で、保護者の皆様や地域の皆様の思いは多様であることを理解し、今後も皆様の声を伺い、よりよい学校であるために校内でも常に議論していきます。

⑦ 学校職員は、子どもの話を聞いたり、子どもと遊んだりして、子どもを理解し、適切な指導、評価をしていますか。【回答総数 82】



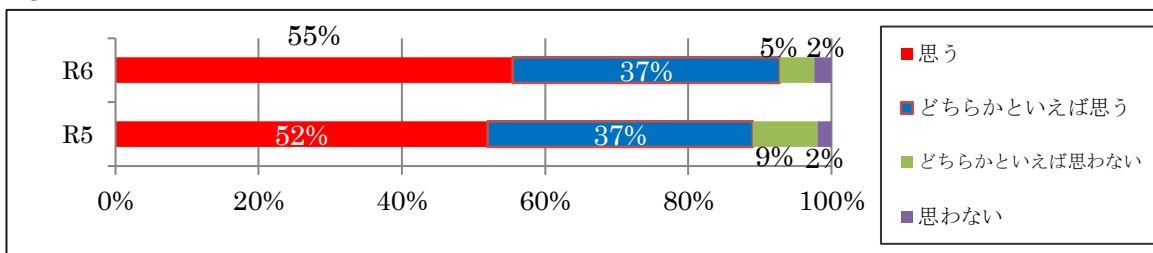
肯定的な回答が6ポイント減りました。本校では、毎週水曜日の掃除の時間を「遊びの時間」と決め、職員も一緒に子どもたちと遊んでいます。今後も、子どもたちと共に活動する学習や遊びの時間を大切にすることで子どもたちを理解し、適切な指導ができるよう努めます。また、教職員が子ども達へ指導をする際の声がけや態度についてご意見をいただきました。一人一人の言葉に耳を傾け、思いに寄り添いながら、トラブルや訴えに対応していきます。

⑧ 学校職員は、わかりやすい授業をしていますか。【回答総数 83】



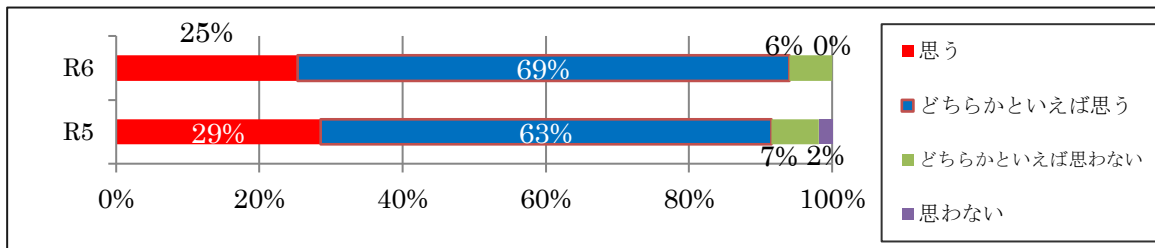
全体的には、昨年同様ほぼ肯定的な回答をいただいたといえますが、昨年度に比べて「思う」のポイントが減り、評価が下がりました。道徳の授業や学級での活動の様子は参観するものの、国語や算数などの授業を参観する機会が少なかったというご意見をいただきました。授業参観の回数が限られているので、多様な学習場面を見ていただけるように、年間を通して計画的に参観授業を検討していきます。学園の授業改善のテーマである「学習する子どもの視点に立った授業づくり」を職員でさらに研究し、子どもの「どうして?」「わからない」を大切に、授業改善を進めていきます。また、日課を見直して、子ども達が自ら学ぶ楽しさを感じられる時間を設けたり、教職員が教材の準備や指導内容の研究に充てる時間を確保したりできるように努めます。さらに、一人一人の学ぶ様子にも目を向けながら学習支援員とも連携して指導していきます。

⑨ 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしていますか。【回答総数 83】



肯定的な回答が昨年よりも3ポイント増えました。今後も職員全員で連携し、日々子どもたちの表情やつぶやきを注視していきます。さらに、保護者の方から情報を密に得ること、スクールカウンセラーや村相談員とも連携していくことを引き続き大切にして、悩みがあったり、学校生活に居づらさを感じたりしている子どもに、丁寧に対応をしていきます。また、学校がもっと楽しくなるように、授業改善にも取り組んでいきます。

⑩ 野沢温泉小学校の子ども達は、場に応じたマナーやあいさつができますか。【回答総数 83】



肯定的な回答が2ポイント増えました。今年度も、児童会や総合・生活科の学習で地域に出て活動する機会が増え、その度に場に応じた「あいさつ」や「行動」が求められました。比較的元気なあいさつができる本校の子どもたちです。今後も子どもたちと一緒にあいさつの大切さについて考え、実践できるように指導していきます。また、竹の子祭りなどの公共の場でのマナーについて子ども達に学んで欲しいというご意見をいただきました。場に応じたマナーやあいさつは、学校、家庭、地域も含めた子どもたちの生活全体で育んでいくものと捉え、保護者の皆様と協力しながら、大人として子どもたちの良い見本となるように努めて参ります。

□ その他、保護者の皆様からいただいたご意見

・学校行事での靴の取り間違いについて、お尋ねがありました。靴の取り間違いが起きないように、保護者の靴は、原則、児童の下駄箱の中に置くか、お持ちいただくようお願いしようと考えています。なお、冬期の靴は長靴などでかさばることが予想されるので、連学年ごとの靴置き場も用意しようと考えています。

・スキー教室における、道具の高騰への家庭負担、スキー場までの移動手段、スキーが苦手なお子さんへの配慮についてご意見をいただきました。アルペンスキー教室や全校スキー教室は、ご家庭はもちろん、スキースクール、(株)野沢温泉スキー場、そして地域のレンタルショップの皆さんまで、本当にたくさんの方に支えられて成り立っています。感謝すると共に、子ども達へは陰で支えてくださっている皆さんのことをしっかり伝えていきたいと思います。また、バス通の児童や前坂の児童には、学校からスキー場までのスクールバスを毎回用意しております。使い勝手についてご意見がありましたら、ご意見をお聞かせください。

アルペンスキー教室や全校スキー教室について、ご意見やご要望がありましたらお聞かせください。職員で検討して参ります。

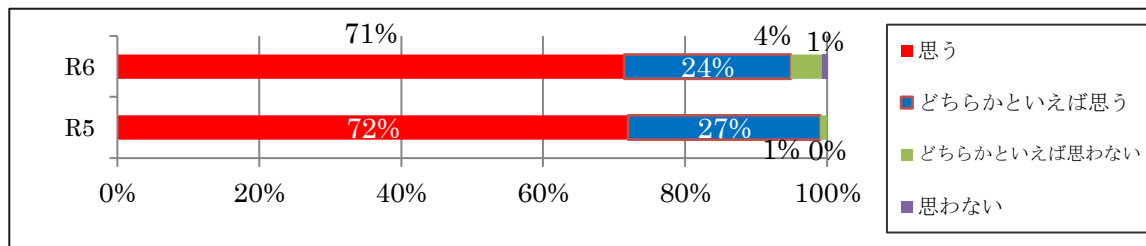
・子どもの個性や性格に合わせて臨機応変に対応していた、我が子のことをよく見ている、学級での活動が充実していたなど、担任へのお褒めの言葉をいただきました。職員の励みになります。ありがとうございました。

・これからもご意見やお気づきのことがありましたら、ご連絡いただけたら幸いです。共に子どもたちのために考えていきたいと思っています。よろしくお願いします。

学園評価アンケート【児童】

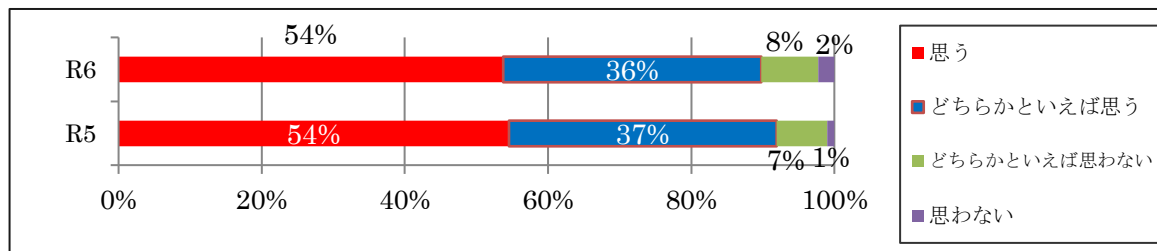
【136人】

1【ふるさと学習】 村のことを調べたり、村の人に教えてもらったり、村に出かけたりして、野沢温泉村のいいところがよくわかった。



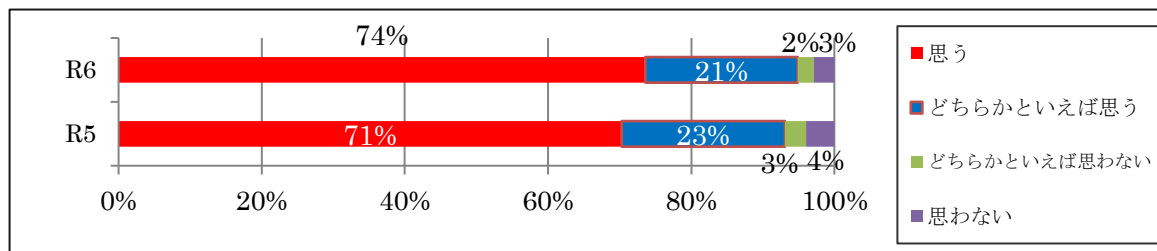
多くの子ども達が「思う・どちらかといえば思う」と答えました。村の様々な場所へ出かけて体験する機会をできるだけ増やし、地域や保護者の皆様に支えられて学習できたことに感謝いたします。今後も、体験を通して「村の人々の思いに触れること」を大切にしながらさらに学習を進めて参ります。

2【英語学習】外国の人や村の人、友だちや先生などと、英語を使ったやり取りを楽しむことができた。



ALT との交流を通して英語でのコミュニケーションを楽しんでいる子どもたちです。「思う・どちらかといえば思う」が90%に対して、10%の子が否定的な回答をしています。授業やイングリッシュタイムでは、英語でのやりとりの楽しさを味わえるように、引き続き工夫して参ります。

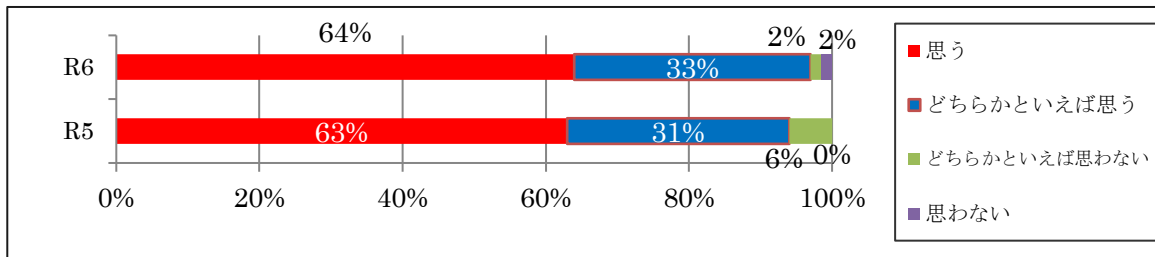
3【スキー学習】スキーを楽しみながら、スキーも上手になってきている。



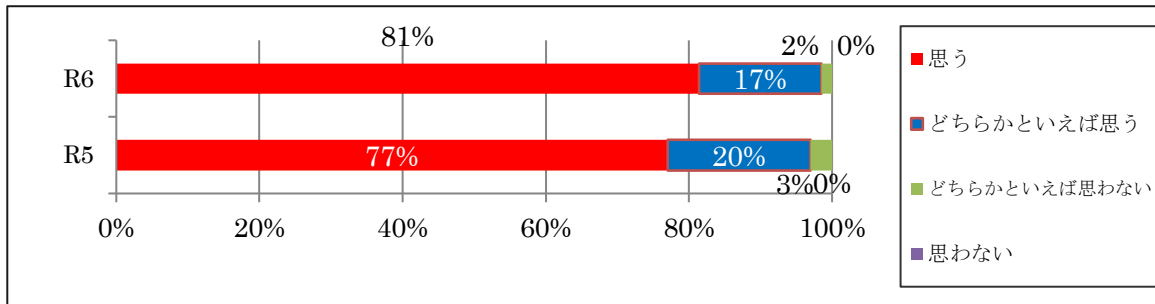
地域の皆様や保護者の皆様のご協力により、スキーを楽しんでいる子どもたちが昨年度よりもわずかに増えました。スキーが楽しいと感じている子どもたちの一方で、スキーに対して苦手意識のある子どももいることを忘れずに、楽しいスキー授業を大事にしながら、技能レベルに合わせた指導内容を今後も検討していきます。スキー学校のコーチやスキー授業に参加いただいている保護者の皆様に、感謝いたします。

学校評価アンケート【児童】

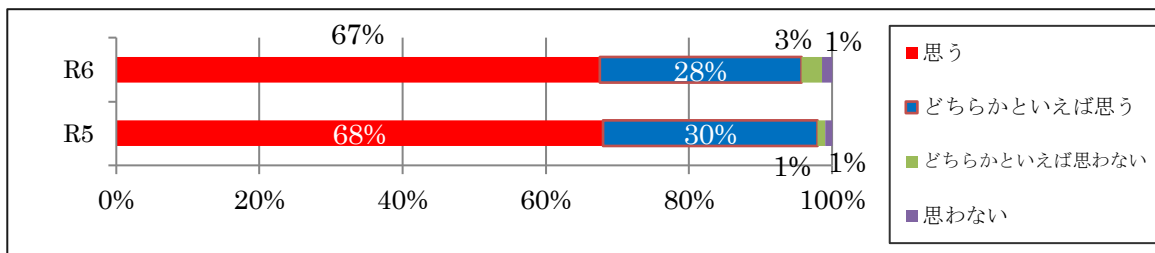
① お家の人は、学校からのおたよりなどで、学校の行事や学級の活動の様子をよく知っている。



② 授業参観や行事などには、お家の人や村の人がたくさん来てくれている。

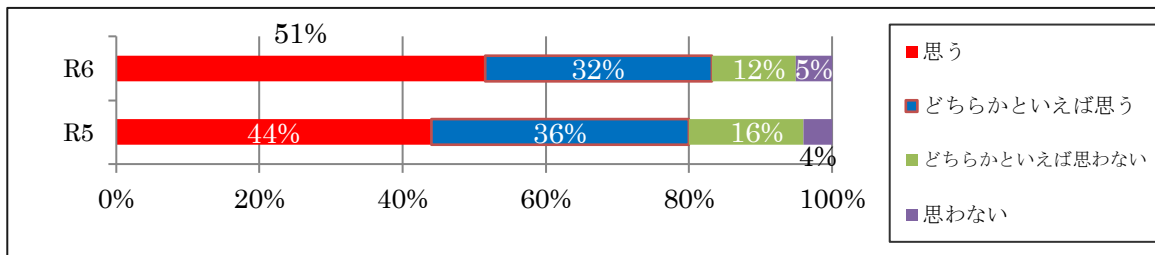


③ 学校の建物や用具などに危険なところは無く、また登下校や休み中の生活でも安全に気を付けている。



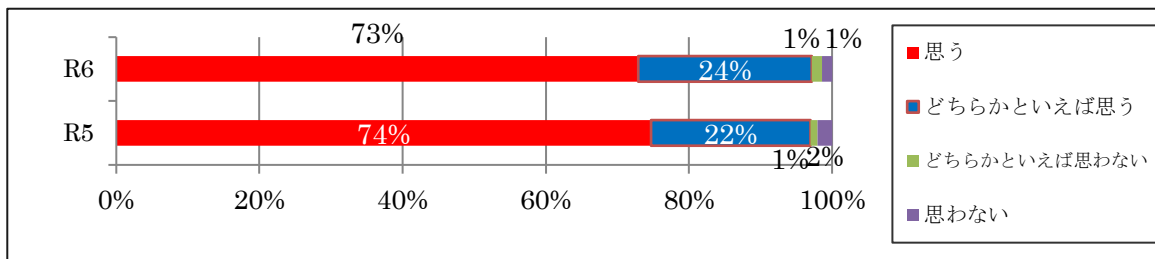
引き続き、学校の様子をご家庭や地域の皆様にお伝えできるようにいたします。また、校内外や下校中の安全に気をつけ、子どもたちのために取り組んで参ります。①②③

④ いじめがあったり、学校に行きたくなかったり、その他のことで悩みなどがあったりするときは、学校の先生（担任先生以外の先生も含む）に相談できる。

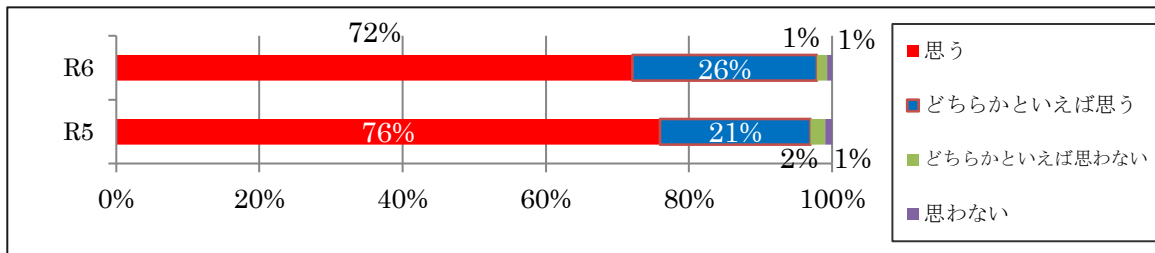


「思う・どちらかといえば思う」がR2年度66%、R3年度74%、R4年度とR5年度は80%、R6年度は83%でした。学校は、徐々に子どもたちにとって相談しやすい環境になっていると思われます。しかしながら、17%の子どもたちが、何か困ったことがあった時に学校職員に相談しようと思わないと感じています。このことを大事に受け止め、年2回の「相談週間」だけでなく、普段のかかわりの中でも「子どもと1対1で話す時間」を今まで以上に大事にしていきます。また、教科担任や養護教諭などいろいろな先生に相談できる機会を今後も作ることで、子どもたちの声に真摯な対応をして「先生に相談しよう」と思えるような関係性を築いていきます。

⑤ 道徳などで、命の大切さや、みんなで仲良くすることの大切さなどについて学んでいる。

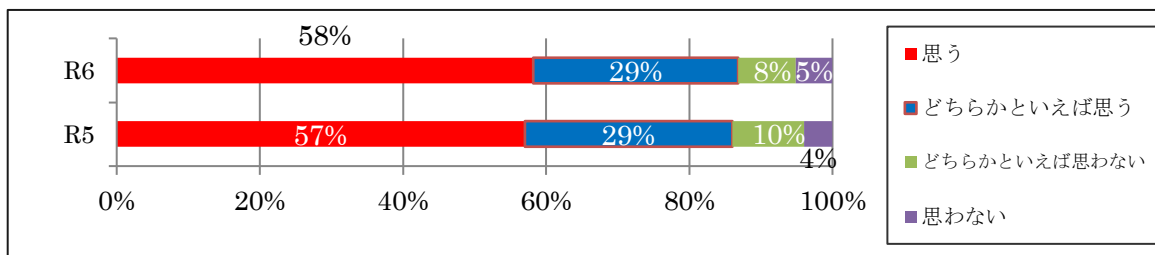


⑥ 授業はわかりやすい。もしわからないところがあっても、質問すれば先生や友だちが教えてくれる。



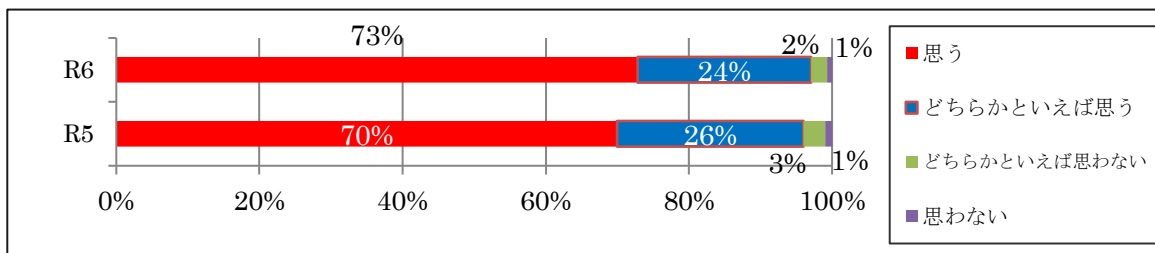
多くの子どもたちが「思う・どちらかといえば思う」の回答をしています。今後も、学園の授業改善のテーマである「学習する子どもの視点に立った授業づくり」を職員でさらに研究し、子どもの「どうして?」「わからない」を大切に、学ぶことが楽しいと、子どもたち自身が思える授業となるように工夫して参ります。⑤⑥

⑦ 学校へ行くのが楽しい。



「思う・どちらかといえば思う」の回答が86%でした。一方13%の子どもたちが「どちらかといえば思わない・思わない」の回答をしています。子どもたち一人一人と関わりをもちながら、保護者アンケート⑨のように対応し、子どもの願いや悩みに寄り添っていききたいと思います。

⑧ 友だちや先生、村の人などに、あいさつをきちんとしている。



昨年度に比べ「思う・どちらかといえば思う」はほぼ同数ですが「思う」が昨年に続いて3ポイント増えました。今後も、子どもたちと共に、学級内でのあいさつや児童会活動のあいさつ運動等に取り組んでいきます。